

索道安全報告書

2011年

中部スノーアライアンス株式会社



ダイナランド

大日岳αライナーリフト
大日岳γライナーリフト
大日岳第4クワッドリフト
大日岳第1ペアリフト
大日岳から松ペアリフト
大日岳第6ペアリフト

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。当社、中部スノーアライアンス株式会社は、「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げるジェイ・マウンテンズ・グループの一員として、ジェイ・マウンテンズ・グループ株式会社の運営方針に従い全ての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解をいただくために公表するものです。

中部スノーアライアンス株式会社
代表取締役 宮崎 年喜

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全員に周知、徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及びこれに関連する規程（本規程を含む）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故、災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全目標

索道運転事故件数ゼロ件を目標とします。

引き続き職員一致団結して目標に向けて安全輸送に取り組む所存です。

3. 事故等の発生状況とその再発防止処置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成22年度、運転事故等の発生はありません。

(2) 災害（地震、風害、豪雪など）

一時的な強風や大雪のため運行開始が遅れたり、一部のリフトについて運行を停止いたしました。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成 22 年度、残念ながら 1 件のインシデントがありました。

平成 23 年 1 月 28 日 大日岳第 4 クワッドリフトにおいて、握索機の部品脱落によりリフトが非常停止しました。

発生原因は夏期に行った握索機の分解整備にて該当部品の留め具が不完であったと思われる。発生後 全クワッドリフトの握索機点検・ボルト類増し締め点検を実施しました。

再発防止策として、整備手順の見直しと完成確認をさらに強化することとしました。

4. 安全輸送のための取組

(1) 人材教育

① 各種索道研修会等の参加

- ・日本ケーブル(株) テクニカルセミナー参加 (4 日間) 3 名
- ・美濃地区索道協会奥美濃支部会 (シーズンの反省) (1 日間) 1 名
- ・美濃地区索道協会技術講習会 (1 日間) 5 名
- ・美濃地区索道協会雪上車両運転取扱い講習会 (1 日間) 10 名
- ・中部運輸局索道技術管理者研修会 (2 日間) 2 名
- ・JMG 索道安全技術委員会 (2 日間) 2 名

② 社内研修の実施

平成 22 年 12 月 1 日 冬季シーズンの索道スタッフ全員を対象とした索道研修会を実施いたしました。その他、各索道現場にて随時、安全に関する教育及び運転の取扱いに関する教育を行いました。

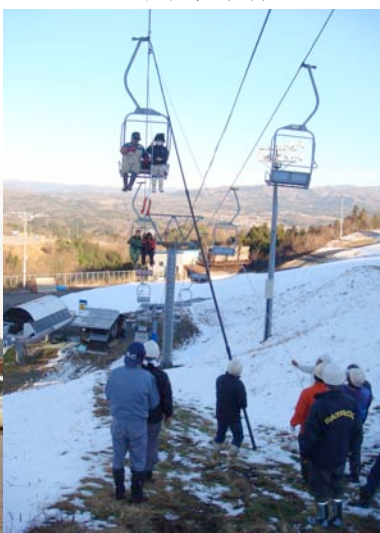
(2) 緊急時対応訓練

シーズン営業開始前及び営業期間中、緊急時を想定した救助訓練を実施しています。

夏季ゆり園救助訓練



冬季救助訓練



冬季高所救助訓練



(3) 安全のための投資と支出

安全の維持及び向上のため、下記の表の通り修繕工事を実施いたしました。

大日岳αライナーリフト	握索機点検整備（全数） 押送Vベルト交換（カーブ部）
大日岳γライナーリフト	握索機点検整備（全数） 搬器間隔制御クラッチオーバーホール 1・2・8・11号支柱 索受けオーバーホール
大日岳第4クワッドリフト	握索機点検整備（全数） 電動機オーバーホール 減速機オーバーホール 原動滑車軸オーバーホール 常用・非常制動機オーバーホール 制動機油圧ホース更新 原動 ギヤボックス・ユニバーサルジョイント 一部オーバーホール 原動 駆動チェーン・スプロケット更新
大日岳第1ペアリフト	制動機ユニット更新 電動機オーバーホール
大日岳から松ペアリフト	電動機オーバーホール 原動軸ユニバーサルジョイント更新 折り返し滑車軸オーバーホール 油圧緊張シリンダーオーバーホール 常用・非常制動機オーバーホール
大日岳第6ペアリフト	握索機オーバーホール（全数） サスペンダーブッシュ交換

この他、各リフトにおきまして全索受装置、場内装置等の給油、各減速機、油圧装置のオイル交換等を行っています。

5. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気付き、改善提案等を索道技術管理員へ報告し日々の業務に反映させております。



代表取締役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

6. 利用者の皆様の連帯とお願い

(1) お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され安全サービスが提供できるよう役立てます。

(2) リフト乗車時の注意事項

お客様の行動は、リフトご利用のお客様全員の安全に係わっています。リフトご利用には、責任と義務がともないます。次のことを守ってください。

(乗車時)

- ① リフトの乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出てください。
- ② 乗車位置では滑走具を正しく前に向けてお待ち下さい。
- ③ ストック等が隣のお客様に迷惑にならないようご注意ください。
- ④ 乗り損なったら、すぐにリフトから離れてください。
- ⑤ リュック、衣類等のひもにご注意下さい。

(乗車中)

- ① セーフティーバーを下ろし、深く腰を掛けてください。
- ② イスから飛び降りること、イスを揺らすことをしないでください。
- ③ 身の回り品や物品の落下にご注意下さい。
- ④ 空き缶、タバコの吸い殻、その他の物品を投げ捨てないでください。

(降車時)

- ① 降り場が近づいたら、セーフティーバーをあげ、降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進み、次のお客様の迷惑にならないようご注意ください。
- ② 降りられなかったら、イスにそのまま座って係員まで申し出てください。

(その他)

係員の指示に従ってください。

連絡先 〒501-5305 岐阜県郡上市高鷲町西洞 3035 番地 2
中部スノーアライアンス株式会社 ダイナランド
TEL 0575-72-6636